

2017年6月7日

Dolby Atmos<sup>®</sup>\*1 & DTS:X<sup>™</sup>\*2、HDR\*3/4K映像、デュアル 7.1ch 対応の  
ミドルクラス ネットワーク AV レシーバー2 機種を新発売

## AVENTAGE

### ヤマハ AV レシーバー

#### 『RX-A870』 『RX-A770』

ヤマハ株式会社は、Dolby Atmos<sup>®</sup>および DTS:X<sup>™</sup>、HDR/4K 映像伝送、ハイレゾ再生に対応し、さらにフルディスクリート構成 7ch 低歪パワーアンプや独自のデュアル 7.1ch システム、「アンチレゾナンスレグ」をはじめとする専用パーツの採用によって本質的な音の良さとリアルな空間再現力を追求した「AVENTAGE」(アベンタージュ)シリーズのデュアル 7.1ch ネットワーク AV レシーバー『RX-A870』を7月下旬より、『RX-A770』を6月下旬より全国で発売いたします。

\*1: Dolby Atmos<sup>®</sup>(ドルビーアトモス) = ドルビーラボラトリーズ社が開発した3次元サラウンドフォーマット。

\*2: DTS:X<sup>™</sup>(ディーティーエス エックス) = DTS社が開発した3次元サラウンドフォーマット。

\*3: HDR(ハイダイナミックレンジ)映像伝送 = 従来より幅広い明暗のダイナミックレンジを持つ映像信号の伝送を可能にする技術。

## AVENTAGE

AVENTAGE は、音・臨場感・操作性の色褪せない本質を追求するヤマハのハイクラス AV コンポーネントシリーズです。いつまでも飽きの来ないナチュラルな音質と優れた操作性、独創のシネマ DSP 技術に裏付けられた圧倒的な臨場感を、ヤマハのクラフトマンシップによって実現しています。

### <価格と発売時期>

品名	モデル名	色	本体価格	当初月産予定台数	発売時期
AVレシーバー	RX-A870	(H)チタン	110,000円(税抜)	4,000台	7月下旬
AVレシーバー	RX-A770	(H)チタン、(B)ブラック	88,000円(税抜)	3,500台	6月下旬

### <製品の概要>

今回発売する『RX-A870』『RX-A770』は、Dolby Atmos<sup>®</sup>と DTS:X<sup>™</sup> のふたつの 3 次元サラウンドフォーマット、DSD5.6MHz、AIFF/WAV/FLAC 192kHz/24bit、Apple Lossless 96kHz/24bit のハイレゾ再生、Ultra HD Blu-ray に採用された HDR10 に加えて Dolby Vision<sup>™</sup>\*1 や Hybrid Log-Gamma\*2 などの HDR 映像伝送にも対応した「AVENTAGE」シリーズのデュアル 7.1ch ネットワーク AV レシーバーです。独自の振動吸収構造を採用した新開発アンチレゾナンスレグやフルディスクリート構成 7ch 低歪パワーアンプ、ローム社との共同開発によるヤマハオリジナルの高精度ボリューム素子、グラウンド周辺の相互干渉を排除する D.O.P.G. (DAC on Pure Ground) コンセプトなど、「AVENTAGE」基準であらゆる面から音質最優先に設計しました。また、入力信号に応じてフロントプレゼンス/サラウンドバックスピーカーが自動的に切り替わる独自のデュアル 7.1ch システムや、室内の音響特性を本質的に改善するマルチポイント計測対応 YPAO-R.S.C. などにより、リアルかつ多彩な空間表現力を追求しています。さらに上級機の『RX-A870』では専用の音質チューニングを実施したほか、入力 8 系統/出力 2 系統の HDMI 端子や 7.1ch プリアウト端子、アルミ製前面カバー付きフロントパネルなど装備もより充実させました。ハイクラス AV レシーバー「AVENTAGE」のエントリーモデルとして、最新の 4K コンテンツはもちろん、動画・音楽の定額制配信メディアや HDR 映像ソースまで、幅広い AV ソースに新たな魅力を与えます。

\*1: Dolby Vision<sup>™</sup>(ドルビービジョン) = ドルビーラボラトリーズ社が開発した HDR 技術。ファームウェア更新により対応予定。

\*2: Hybrid Log-Gamma(ハイブリッドログガンマ) = NHK と英国 BBC が共同提案する放送向け HDR 方式。ファームウェア更新により対応予定。

## 【RX-A870/RX-A770 主な特長】

1. AVENTAGE 基準の制振技術(アンチレゾナンステクノロジー)を採用
2. Dolby Atmos® & DTS:X™ 対応デコーダーを搭載
3. HDR(HDR10、Dolby Vision™\*、Hybrid Log-Gamma\*)伝送、BT.2020 伝送、HDCP2.2、4K/60p パススルー & 4K アップスケーリングに対応した HDMI 端子  
\*ファームウェア更新により対応予定
4. シネマ DSP<3D モード>がもたらす臨場感と、それを支える音質最優先設計
  - ・フルディスクリット構成 7ch 低歪パワーアンプ、4 回路分離パワーサプライなどを採用
  - ・ローム社と共同開発した高精度ボリューム素子、ルビコン社と共同開発した PML コンデンサーなどのヤマハオリジナルパーツを投入
  - ・フロントプレゼンス/サラウンドバックスピーカーを自動選択する独自のデュアル 7.1ch システムを装備
  - ・初期反射音を積極的に制御する「YPAO-R.S.C」を搭載
5. 先進のネットワークオーディオ機能を搭載
  - ・DSD 5.6MHz、AIFF/WAV/FLAC 192kHz/24bit、Apple Lossless 96kHz/24bit 再生をサポート
  - ・家庭内ネットワークへ無線 LAN 経由で接続できる Wi-Fi 内蔵
6. ヤマハ AV レシーバー用操作アプリ「AV CONTROLLER」に加え、聴く楽しさを家中に広げる「MusicCast®」や、話題の Spotify を快適に楽しめる「Spotify Connect」にも対応
7. Bluetooth®オーディオ送受信機能、音楽を生き生きと蘇らせるミュージックエンハンサーを搭載
8. より長くご愛用いただくために 5 年間の長期製品保証を実施(RX-A870)



左：RX-A870 右：RX-A770

## <RX-A870/RX-A770 主な特長>

### 1. AVENTAGE 基準の制振技術(アンチレゾナンステクノロジー)を採用

アンチレゾナンステクノロジー(Anti Resonance Technology)思想に基づく〈5番目の脚〉や、独自の振動吸収構造を形にした新開発アンチレゾナンスレグなど AVENTAGE 基準の制振技術を採用し、よりタイトで解像度の高い低域再生を実現しました。外装にはヤマハ伝統のチタンカラーまたはブラック(ブラックは RX-A770 のみ設定)のヘアライン仕上げアルミフロントパネルを両機種に採用したほか、『RX-A870』では前面端子類を内側に収めたアルミ製前面カバー、上質な手触りのアルミ製ボリュームノブ/セクターノブにより高級感を高めています。



アンチレゾナンステクノロジー思想に基づく  
(5番目の脚)



新開発アンチレゾナンスレグ



ヘアライン仕上げのアルミフロントパネルと前面カバー、上質な手触りのアルミ製ボリュームノブ  
(RX-A870)

### 2. Dolby Atmos® & DTS:X™ 対応デコーダーを搭載



Dolby Atmos® (ドルビーアトモス)とDTS:X™、ふたつの3次元サラウンドフォーマットに対応したサラウンドデコーダーを搭載しました。個々の音を、頭上を含めた室内のあらゆる位置に定位または移動させ、3次元的な音響空間を簡単に創り上げることのできるこの技術への対応により、最新映画で話題のリアルな包囲感や移動感を家庭のシアタールームで楽しめます。5.1.2ch スピーカー構成に対応し、プレゼンスピーカーはフロントスピーカー上方壁に設置する「フロントハイト」、天井に設置する「オーバーヘッド」、「ドルビーイネーブルドスピーカー」の3パターンから選択できます。またDTS:X™再生時には「DTS ダイアログコントロール\*」でセリフ音量の単独調整も可能です。

\*: 本機能はDTSダイアログコントロール対応のDTS:X™コンテンツ再生時に限り有効です。



「フロントハイト」設定画面例



「オーバーヘッド」設定画面例



「ドルビーイネーブルドSP」設定画面例

### 3. HDR(HDR10、Dolby Vision™、Hybrid Log-Gamma) 伝送、BT.2020伝送、HDCP2.2、4K/60pパススルー & 4Kアップスケーリングに対応したHDMI端子

最新の著作権保護技術 HDCP2.2\*1、Ultra HD Blu-ray 規格に規定された HDR 映像伝送や BT.2020 規格、4K/60p 4:4:4 映像信号のパススルー/4K アップスケーリングに対応した 8 入力/2 出力 (RX-A870) または 6 入力/1 出力 (RX-A770) の HDMI 端子を装備しました。さらに、幅広いダイナミックレンジにより、華やかな色彩や豊かなディテールを再現する「Dolby Vision™ (ドルビービジョン)\*2」や、放送局が推奨する HDR 方式「Hybrid Log-Gamma (ハイブリッドログガンマ)\*2」の伝送にも対応します。また、テレビと本機とを 1 本の HDMI ケーブルで接続し、テレビ側の音声の本機経由で再生できるオーディオリターンチャンネル (ARC)、他社製テレビ/レコーダーとのリンク機能\*3 を利用することで、設置や操作がより簡単に行えます。

\*1:RX-A870 では 3 入力/2 出力、RX-A770 では 3 入力/1 出力が HDCP2.2 対応端子です。

\*2:ファームウェア更新により対応予定。

\*3:HDMI によるリンク機能 (HDMI コントロール) は、本機~対応テレビ (レコーダー) 間を HDMI 接続した場合に実現するものです。対応テレビ機種などの詳細は当社製品サイトでご確認ください。 [http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/connect/hdmi\\_cec/](http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/connect/hdmi_cec/)



4K Ultra HD Pass-Through/Up-scaling HDCP2.2



COMPATIBLE DOLBY VISION

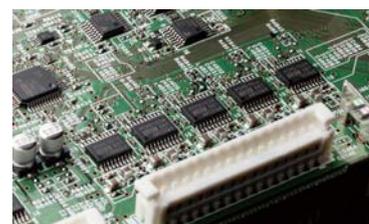
ドルビービジョン映像伝送対応 (ファームウェア更新により対応予定)

### 4. シネマ DSP<3D モード>がもたらす臨場感と、それを支える音質最優先設計

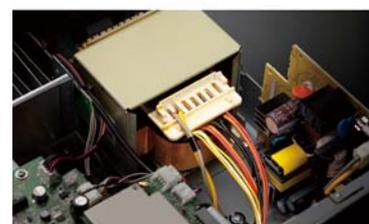
#### ●フルディスクリット構成 7ch 低歪パワーアンプ、4 回路分離パワーサプライなどを採用

回路構成の改良でさらなる低歪化を実現した定格出力 130W/ch のフルディスクリット構成 7ch 低歪パワーアンプ、パワーアンプの改良に合わせて開発した電源用ブロックケミコン、オーディオ入力部と D/A コンバーター部の電位差を解消して微小信号の再生品位を高める D.O.P.G. (DAC on Pure Ground) コンセプト、バーブラウン 384kHz/32bit\* D/A コンバーターなどにより、オーディオアンプとしての優れた資質を追求。外部デジタル入力に含まれるジッター成分を軽減して入力信号の精度を高めるロージッターPLL 回路も搭載しています。いっぽうパワーサプライ (電源部) はデジタル系/映像系/表示系をアナログオーディオ系から独立させた 4 回路分離型とし、電源部を巡るノイズを抑えたクリアな音質と、安定した電源供給に支えられた音の瞬発力を獲得しました。さらに『RX-A870』では専用の音質チューニングも併せて実施し、スペックには現れない音の違いにこだわりました。

\*:再生可能なファイルフォーマットは最大 192kHz/24bit です (DSD 除く)。



バーブラウン384kHz/32bit D/Aコンバーター



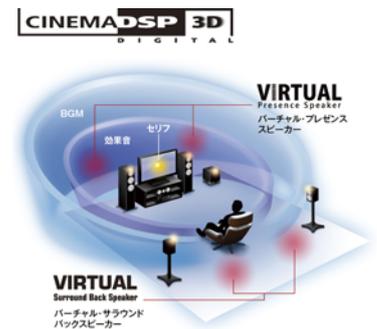
デジタル系/映像系/オーディオ系/表示系を分けた 4回路分離パワーサプライ

#### ●ローム社と共同開発した高精度ポリウム素子、ルビコン社と共同開発した PML コンデンサーなどのヤマハオリジナルパーツを投入

ローム社と共同開発したヤマハオリジナルの高精度ポリウム素子の投入により、全帯域にわたる高い解像度を実現しました。さらに、ルビコン社と共同開発したヤマハオリジナルの PML コンデンサーが電源系からのノイズ除去に高い効果を発揮し、Blu-ray Disc の HD オーディオコンテンツやハイレゾ音源の魅力を活かす明瞭で自然な音の表現力を追求しています。

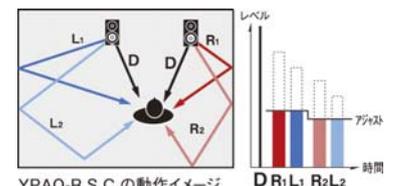
## ●フロントプレゼンス/サラウンドバックスピーカーを自動選択する独自のデュアル 7.1ch システムを装備

フロントプレゼンススピーカーを使用したシネマ DSP (3D モード) の 7.1ch 再生と、サラウンドバックスピーカーを使用した 7.1ch 再生とをフロントプレゼンス/サラウンドバックスピーカーの自動切り替えによって完全再生する、独自のデュアル 7.1ch システムを装備しました。さらに、実際のスピーカーが接続されない場合に仮想のプレゼンススピーカーをリスニング空間へ生成する「バーチャル・プレゼンススピーカー」機能と、同じく仮想のサラウンドバックスピーカーを生成する「バーチャル・サラウンドバックスピーカー」機能も装備し、通常の 5.1ch スピーカー構成でも最大 9.1ch 相当のシネマ DSP (3D モード) 再生が可能です。シネマ DSP の信号処理には、ハイクラス AV レシーバー「AVENTAGE」の上位機種と共通のヤマハオリジナル高性能 DSP デバイスを採用しました。なお本機には、ゾーン 2 出力のオン/オフと連動してフロントプレゼンススピーカーとゾーン 2 スピーカーとを切り替えるスピーカーアサイン機能も装備し、内蔵の 7ch パワーアンプをより有効に活用できます。



## ●初期反射音を積極的に制御する「YPAO-R.S.C.」を搭載

室内の初期反射音を積極的に制御して左右スピーカーの設置環境の違いによる音質・音場の偏りなども補正する「YPAO-R.S.C.」(Reflected Sound Control)、最大 8 地点での計測結果を解析して音質・音場補正に反映させる「マルチポイント計測」、これらの計測結果に基づいて設定音量に応じた均一なサウンドバランスを保つ「YPAO Volume」の3つの機能を、視聴環境最適化システム「YPAO」で実現しました。さらに、内蔵のパラメトリック EQ には 3 次元サラウンド再生に特に有効なサブウーファー調整も装備し、Dolby Atmos® & DTS:X™ の立体的な臨場感やハイレゾオーディオの高音質など、あらゆるプログラムソース本来の魅力を最大限に引き出すことができます。



YPAO-R.S.C.の動作イメージ  
室内の壁や床からの不規則な初期反射音はオーディオ(シアター)再生に悪影響を及ぼす原因のひとつです。YPAO-R.S.C.は左右のスピーカーの設置環境が異なる場所での不規則な初期反射音(左図)をデジタル音場処理技術で補正(右図)し、よりバランスの整った視聴空間をつくり出す事ができます。

## 5. 先進のネットワークオーディオ機能を搭載

### ●DSD 5.6MHz、AIFF/WAV/FLAC 192kHz/24bit、

#### Apple Lossless 96kHz/24bit 再生をサポート

ジッターノイズの発生を大幅に低減して、ハイレゾ音源特有のデリケートな音の違いも忠実に描き分けるヤマハオリジナル・ネットワークモジュールを搭載したネットワークオーディオ部は、DSD 5.6MHz 再生、AIFF/WAV/FLAC 192kHz/24bit 再生、Apple Lossless 96kHz/24bit 再生をサポートします。ネットワーク上の音楽コンテンツを再生する際に気になる曲間の音の途切れを解消するギャップレス再生にも対応しています(DSD を除く)。



### ●家庭内ネットワークへ無線 LAN 経由で接続できる Wi-Fi 内蔵

家庭内ネットワークへ無線 LAN 経由で接続できる Wi-Fi 機能を内蔵し、ハイレゾ音源を含むネットワーク上の音楽コンテンツやインターネットラジオの再生、「AV CONTROLLER」アプリでのワイヤレス操作を実現しました。さらに、端末内の音楽コンテンツのワイヤレス再生や、「AV CONTROLLER」での操作などが無線 LAN 環境のない場所で手軽に行える「Wireless Direct」も内蔵しています。

※無線 LAN と有線 LAN との同時接続はできません。Wi-Fi または有線 LAN 接続と Wireless Direct 接続との同時使用はできません。無線 LAN で接続できる距離は環境に依存します。



## 6. ヤマハ AV レシーバー用操作アプリ「AV CONTROLLER」に加え、聴く楽しさを家中に広げる「MusicCast®」や、話題の Spotify を快適に楽しめる「Spotify Connect」にも対応

お手持ちのモバイル端末を使って本機の操作や詳細設定が快適に行えるヤマハ AV レシーバー用操作アプリ「AV CONTROLLER」に対応します。さらに、家庭内に設置した複数の MusicCast 対応音響機器（本機含む）の操作や機器間での音楽コンテンツの配信・共有・リンク再生などをひとつの専用アプリ\*1で実現するヤマハ独自の「MusicCast®（ミュージックキャスト）」、ストリーミング音楽配信サービス「Spotify」の楽曲を Spotify アプリでリモコンのように操作しながら本機で再生できる「Spotify Connect（スポティファイコネクト）\*2」、日本国内の民放ラジオ局の放送番組をインターネット経由でストリーミング再生する radiko.jp\*3も聴けるインターネットラジオ機能を装備しました。

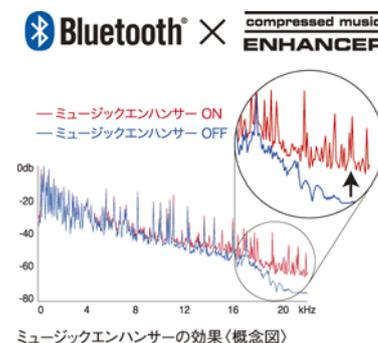
- \*1: 専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」（無償）により本機の基本操作および MusicCast®によるネットワーク再生が可能です。
- \*2: Spotify Connect の使用には Spotify アプリ（無料）のインストールと Spotify Premium アカウント（有料）への登録が必要です。
- \*3: radiko.jp（無料のエリア内聴取）と radiko.jp プレミアム（有料のエリアフリー聴取）に対応。使用には「MusicCast CONTROLLER」アプリのインストール、およびプレミアム会員登録（radiko.jp プレミアム利用時のみ）が必要です。



## 7. Bluetooth®オーディオ送受信機能、音楽を生き活きと蘇らせるミュージックエンハンサーを搭載

スマートフォンやタブレットなど、お手持ちの Bluetooth®対応機器の音声を本機でワイヤレス再生（受信）したり、本機の音声を Bluetooth®対応ヘッドホンやスピーカーなどで聴ける（送信\*1）AAC フォーマット対応\*2 Bluetooth®オーディオ送受信機能を搭載しました。さらに、高音域の情報量や低音域の明瞭度が失われがちな Bluetooth®などの圧縮音声をヤマハ独自の技術によって補正（右図参照）するミュージックエンハンサーを併用することで、平板な音になりがちな圧縮音声を生き活きと蘇らせます。

- \*1: Airplay および DSD 音声の送信、ならびに本機で Bluetooth®受信した音声の再送信はできません。
- \*2: AAC フォーマットは Bluetooth®受信時のみ対応しています。



## 8. より長くご愛用いただくために 5 年間の長期製品保証を実施（RX-A870）

長期間にわたり安心してご愛用いただけるよう、お買い上げ日より 5 年間のメーカー製品保証を標準で付与しています。

**【その他の特長・機能】** ●FM 補完放送も受信できる 40 局プリセット対応ワイド FM/AM チューナー ●お気に入りのインターネットラジオ局をストレスなく呼び出せるブックマーク&オートプレイ ●新たにコンテンツ登録にも対応した SCENE 機能 ●コンパクトスピーカーの音に重低音の力感や躍動感をプラスする Extra Bass ●フロントプレゼンス/ゾーン 2、およびフロントバイアンプ/サラウンドバック/ゾーン 2 からそれぞれ選択できるパワーアンプアサイン ●本機側で音量調節が可能なゾーン 2 プリアウト ●ゾーン 2 で再生している音源を、他の部屋にある MusicCast 対応機器でリンク再生できるゾーン 2 リンクマスター（メインゾーンが電源オフ時でも使用可能） ●音質設定をゾーン 2 専用カスタマイズできるゾーン Extra Bass&ボリューム EQ ●シネマ DSP の効果やダイナミックレンジを音量調整に合わせて自動的に制御するアダプティブ DSP レベル&アダプティブ DRC 技術 ●サラウンド再生がお手持ちのヘッドホンで楽しめるサイレントシネマ ●音声信号経路を最短化して入力ソースの音をありのままに再現するピュアダイレクトモード ●接続した機器や入力信号に応じて自動的に入力名を生成するオートリネーム機能 ●HDMI コントロール/スタンバイスルーオフ、ネットワークスタンバイオフ時の待機時消費電力 0.1W 以下の省電力設計 ●一定時間（20 分、2/4/8/12 時間に設定可能）使用しないと自動的に電源がオフになり、電源の切り忘れを防止するオートスタンバイ ●MM カートリッジ対応フォノ入力 ●フロントに加えてアイコンも HD 化して視認性を高めた GUI 画面の多言語対応 OSD（オンスクリーン・ディスプレイ） ●WPS（プッシュボタン/PIN コード）または iOS 設定共有により無線 LAN を簡単設定

## <RX-A870/A770 主な仕様>

型番		RX-A870	RX-A770
定格出力	20Hz-20kHz、2ch 駆動	100W/ch (6Ω、0.06%THD)	95W/ch (6Ω、0.06%THD)
	1kHz、1ch 駆動	130W/ch (6Ω、0.9%THD)	130W/ch (6Ω、0.9%THD)
実用最大出力 (JEITA)	1kHz、1ch 駆動	160W/ch (6Ω、10%THD)	160W/ch (6Ω、10%THD)
内蔵パワーアンプ数		7	
音声入力	アナログ	5 系統: RCA 4 (PHONO 1 含む)、ステレオミニ 1	
	デジタル	4 系統: 光 2、同軸 2	
音声入力 (その他)		3 系統: USB*1、ネットワーク 1 (Ethernet)、ネットワーク 1 (Wireless) *USB メモリー内ファイルの音声再生用。USB DAC としての機能はありません。	
映像入力		2 系統: コンポーネント 1、コンポジット 1	
音声出力	スピーカー出力	7ch (フロント L/R、センター、サラウンド L/R、サラウンドバック L/R [ZONE2、BI-AMP 兼用]) 拡張スピーカー出力 1: 2ch (フロントプレゼンス/ZONE2)、 拡張スピーカー出力 2: 2ch (サラウンドバック/ZONE2/BI-AMP)	
	PRE OUT	7.1ch (フロント L/R、センター、サラウンド L/R、サラウンドバック L/R、サブウーファー (MONO) × 2)、 ZONE2 OUT	サブウーファー (MONO) × 2、ZONE2 OUT
	ヘッドホン出力	1	
HDMI 入力		8 (HDMI 1、2、3 は HDCP2.2 に対応)	6 (HDMI 1、2、3 は HDCP2.2 に対応)
HDMI 出力		2 (HDCP2.2 に対応、同時出力可)	1 (HDCP2.2 に対応)
HDMI パススルー		4K/60p (YCbCr=4:4:4)、BT.2020、HDR (HDR10、Dolby Vision™*、Hybrid Log-Gamma*) *: ファームウェア更新により対応予定	
HDMI その他		4Kアップスケーリング対応、アップコンバージョン対応	
シネマ DSP プログラム数		17	
オブジェクトオーディオ対応		Dolby Atmos®/DTS:X™ 対応	
ネットワーク 関連機能	Wi-Fi/Wireless Direct	○ (IEEE802.11b/g/n 準拠) / ○	
	DLNA1.5 対応	○	
	音声対応フォーマット (USB、サーバー)	DSD 5.6MHz、Apple Lossless 96kHz/24bit、MPEG4-AAC、 WAV/FLAC/AIFF 192kHz/24bit、MP3、WMA	
	ギャップレス再生	○ (WAV/FLAC/Apple Lossless/AIFF に対応)	
	AirPlay/ミュージックプレイ	○ / ○	
	機器連携	○ (MusicCast®機能)	
	ストリーミングサービス	○ (インターネットラジオ、Spotify Connect 対応、radiko.jp)	
Bluetooth® 再生方式	バージョン	Ver.2.1+EDR	
	対応プロファイル	A2DP/AVRCP	
	対応コーデック	受信時: SBC/AAC、送信時: SBC	
	対応コンテンツ保護	SCMS-T 方式	
	ワイヤレス出力	Bluetooth Class2	
最大通信距離	10m (障害物のない見通し距離)		
チューナー		AM/FM (ワイド FM 対応)	
アプリ操作		AV CONTROLLER/MusicCast CONTROLLER での操作	
消費電力		360W	
待機時 消費電力	HDMI コントロール OFF/ スタンバイスルー-OFF 時	0.1W	
	HDMI コントロール ON/ スタンバイスルー-ON 時	1.1W	
	ネットワークスタンバイ ON 時	Wired: 1.6W、Wi-Fi: 1.6W、Wireless Direct: 1.8W、Bluetooth: 1.6W	
	HDMI コントロール ON/ スタンバイスルー-ON/ ネットワークスタンバイ ON 時	Wireless Direct: 2.4W	
寸法 (幅×高さ×奥行)		435W×171H×382D mm (Wi-Fi アンテナ直立時: 435W×234H×382D mm)	435W×171H×380D mm (Wi-Fi アンテナ直立時: 435W×234H×380D mm)
質量		10.5kg	10.5kg
付属品		リモコン、単 4 乾電池 (2 本)、AM アンテナ、FM アンテナ、 YPAO マイク、電源コード、取扱説明書、セットアップガイド	

※文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。



ヤマハ AVレシーバー『RX-A870』 カラー:(H)チタン  
本体価格 110,000 円(税抜)



前面カバーオープン時



※RX-A870(H)の画像データは下記ウェブサイトよりダウンロードできます。  
[http://jp.yamaha.com/news\\_release/](http://jp.yamaha.com/news_release/)

【製品情報】

ヤマハ AVレシーバー『RX-A870』 [http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/av-amplifiers/rx-a870\\_j/](http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/av-amplifiers/rx-a870_j/)



ヤマハ AVレシーバー『RX-A770』カラー:(H)チタン/(B)ブラック  
本体価格 88,000 円(税抜)



※RX-A770 の画像データは下記ウェブサイトよりダウンロードできます。  
[http://jp.yamaha.com/news\\_release/](http://jp.yamaha.com/news_release/)

【製品情報】

ヤマハ AVレシーバー『RX-A770』 [http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/av-amplifiers/rx-a770\\_j/](http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/av-amplifiers/rx-a770_j/)

この件に関するお問い合わせ先  
**ヤマハ株式会社**

■報道関係の方のお問い合わせ先

広報部 ブランド・商品広報グループ

窪井、佐藤、千葉

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL 03-5488-6605

FAX 03-5488-5063

ウェブサイト [https://www.yamaha.com/ja/news\\_release/](https://www.yamaha.com/ja/news_release/)

(取材申し込みや広報資料請求が可能です。)

■一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン カスタマーサポート部

お客様コミュニケーションセンター

オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

TEL 0570-011-808 (ナビダイヤル:全国どこからでも市内通話料金)

TEL 053-460-3409 (上記番号でつながらない場合)